

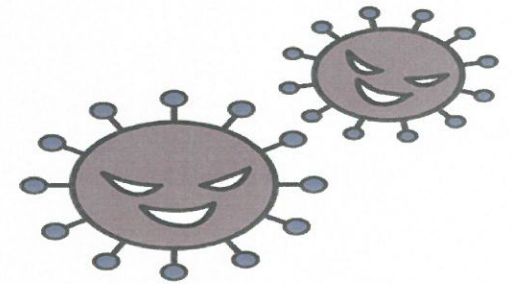
# インフルエンザ

## 冬の職場での感染症対策

令和元年10月度  
衛生委員会資料  
産業医 西川菜摘

# インフルエンザとは？

- インフルエンザウイルスによる感染症。
- 流行時期は12月～3月（年々長期化傾向）
- 毎年約10人に1人がかかっている。
- 普通の“かぜ”に比べて、急速に発症し、全身症状が強く、重症化しやすい。
- 子どもやお年寄りでは死亡することもある。



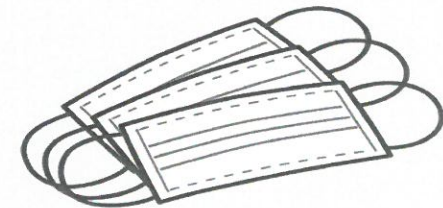
# インフルエンザの特徴

- 症状：発熱、悪寒、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感
- 感染経路：くしゃみや咳に含まれるウイルスを吸い込む  
付着したウイルスが手指や食べ物を介して口に入る



# インフルエンザにかからないためには？

- 手洗い、うがい、マスクの着用
  - インフルエンザワクチンの接種
- ※毎年接種する必要があります。

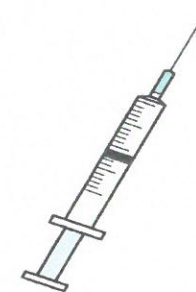


（流行するインフルエンザの型は毎年変わるため。）

※ただし、ワクチン接種したらインフルエンザにかからない、というわけではありません。

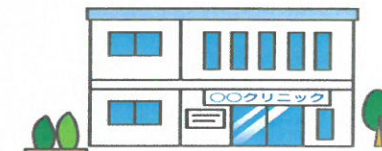
ワクチンを接種していれば、仮に感染してもウイルス増殖スピードが抑制されるため、軽症で済む可能性が高く、また、肺炎や脳炎といった合併症のリスクが抑えられます。

# インフルエンザワクチンについて



- ◆接種後に免疫ができるまで2-3週間かかると言われています。そのため11月中旬までには接種しておくのが望ましいですね。
  - ◆接種を希望する場合は、近くの医療機関で予約が必要です。ワクチン数には限りがありますので、予約のタイミングを逃すと、受けられない可能性もあります。
- 早めの予約をお勧めします。

# インフルエンザにかかったら



□まずは受診を。

医療機関では迅速検査ですぐに感染の有無を確認できます。

※受診時はマスクを着用し院内感染を防ぎましょう。



□抗ウイルス薬で治療する。

内服薬、吸入薬、注射薬があります。医師と相談して適切な治療を受けてください。

受診は発熱など症状が出現してから48時間以内が望ましいとされます。

受診のタイミングが遅いとウイルスが増えすぎてしまい、抗ウイルス薬の効果が出にくくなるためです。

# インフルエンザQ & A

- Q: 今までにワクチン接種したことありませんが、受ける必要がありますか？
- 年々流行時期が長くなり、感染者も増加傾向です。そのため感染リスクは高まっていると考えられます。また、各自が感染予防対策をとることが職場の衛生管理という観点からも有益です。

- Q: ワクチン接種してもインフルエンザにかかりました。なぜですか？
- 毎年流行する型を予想してワクチンが作られます。そのため、抗原の型によっては、ぴったりと一致した抗体が作られず、感染することがあります。
  - しかしながら、ワクチン接種をしておくことでウイルス増殖スピードが抑えられ軽症で済み、合併症を予防できる効果があると考えられます。
  - また、乳児や免疫不全の方、卵アレルギーなどでワクチン接種ができない方への感染を予防する、という観点からも周囲の方が予防接種をしておくことは有益と考えられます。

